

【外国語活動・小4・Unit 6 Alphabet（アルファベットで遊ぼう）】①

育成を目指す資質・能力

本時のねらい： アルファベットの小文字の形とその読み方に慣れ親しむ。

ICT活用のポイント

- アルファベットの形の特徴について考える活動
- 個別最適な学習による本時のねらいの達成

【つかむ】
ABC Song を歌う

【追究する】
教科書の中から指定されたアルファベットをさがす

【追究する】
スクリーン上の重なっているアルファベットを推測する

【まとめる】
アルファベット順にタッチして消していく学習支援ソフトに取り組む

【まとめる】
振り返りを行う

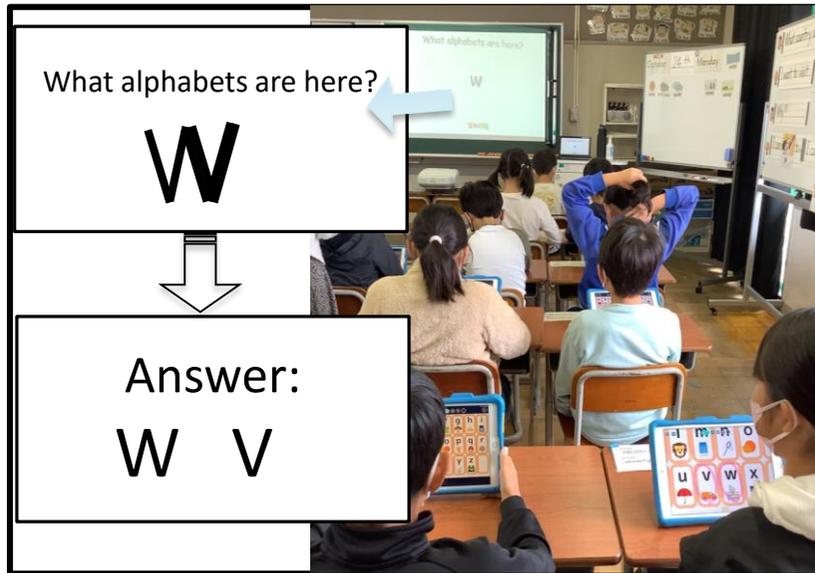
事例の概要

事例におけるICT活用の場面①【追究する】
スクリーンに映し出された重なったアルファベットが、何であるかを判別する活動。ペアで一緒に考えながら、自分のタブレットにあるアルファベット表の中のアルファベットに○をつける。

事例におけるICT活用の場面②【まとめる】
ランダムに配置されたアルファベットを順番にタッチして消していくという学習支援ソフトに、各児童が繰り返し取り組む活動。まとめの活動として行い、繰り返し何度も取り組める。

【外国語活動・小4・Unit 6 Alphabet (アルファベットで遊ぼう)】②

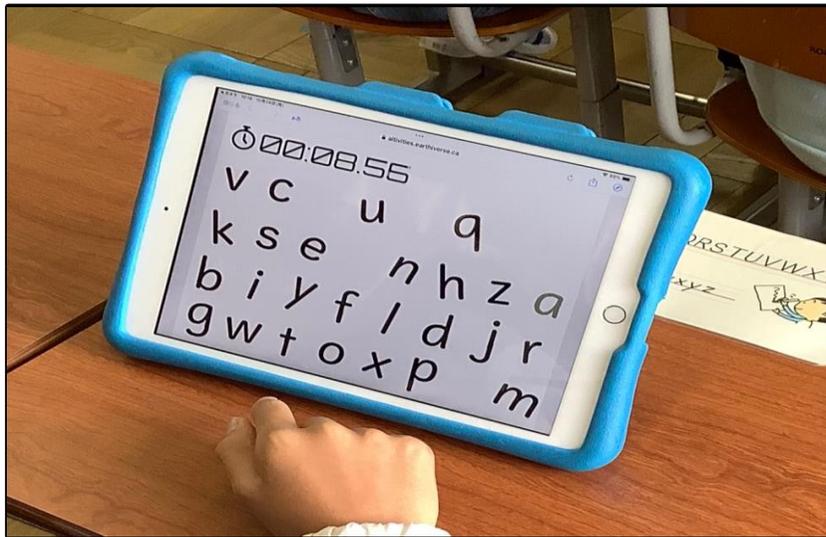
【事例におけるICT活用の場面①】



本時は単元の2時間目で、個々のアルファベットの形の認識があやふやな児童もいる段階である。ICTの活用により、アルファベットの形の特徴について認識を深めることができる。

スクリーン上に重ねられたアルファベットが映し出され、児童はペアで相談しながら、使われているアルファベットを推測して、ICT端末に映し出されたアルファベット表内にあるアルファベットを○で囲う。問題と解答の提示にはプレゼンテーションソフトが使われており、スムーズに行うことができる。また、解答のためにICT端末を使用しているため、児童は容易に○を付けたり消したりできる。

【事例におけるICT活用の場面②】



本時のまとめの活動として、個人で取り組む活動である。無料でダウンロードできる学習支援ソフトを使用している。QRコードをカメラ機能で読み取り、ログインする。

画面にアルファベットがランダムに映し出され、順番にタッチしていくと消えていく。順番を間違えると消すことができない。タイマーが付いており、終了タイムを示してくれる。パターンは3つあり、大文字、小文字、大文字と小文字のミックスがある。

児童はタイム更新を狙って何度もチャレンジするため、自然とアルファベットに慣れ親しむことができる。アルファベットの形や順番を覚えらるる良い教材であり、個別最適な学習である。